

## 日立港木材倉庫株式会社

[法人の概要]

平成19年7月1日現在

代表者名	代表取締役 打越芳男(常勤)	県所管部課	土木部 港湾課	
所在地	茨城県日立市留町2435-10	電話番号	0294-53-1311	
ホームページURL	<a href="http://business3.plala.or.jp/mokuzai/">http://business3.plala.or.jp/mokuzai/</a>	E-mailアドレス	<a href="mailto:mkpg@pluto.plala.or.jp">mkpg@pluto.plala.or.jp</a>	
資本金	135,000 千円	設立年月日	昭和40年11月5日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	茨城県	9,000 千円	6.7 %
	2	(株)日立ライフ	8,985 千円	6.7 %
	3	高井洋治	8,840 千円	6.5 %
	4	(株)茨城木材相互市場	8,525 千円	6.3 %
	5	常陸木材(株)	6,290 千円	4.7 %
	その他	60 団体	93,360 千円	69.2 %
設立目的	日立港における輸入木材の埠頭利用の円滑化、地場産業の育成・外国貨物取扱いの保税蔵置場維持管理・輸入貨物の需要に対応した需給の安定・輸出用梱包材の国際協定に基づく殺虫消毒の実施・植物防疫法に基づく検疫業務の手続き等について受託しその一元化を図る。			

[事業の概要]

事業名	平成19年度事業費	内容
事業1 保税・保管部門	35,952 千円	関税法に基づく輸入貨物の一時保管(輸入者の代行で通関までの諸手続きを行なう)
事業2 燻蒸部門	7,020 千円	植物防疫法に基づく輸出入貨物に付着する有害動物・植物の検疫業務及び輸出用梱包材の国際協定に基づく殺虫消毒の検疫業務行なう事で、国内農林業産物の需給の安定を図る。
事業3 営業倉庫部門	82,803 千円	輸出入貨物・国内貨物を倉庫業法に基づく保管・流通加工・入出庫業務を行なう事により、倉庫利用者の利益を保護するとともに、円滑な流通を確保する。

[組織]

7月1日現在の人数	平成17年			平成18年			平成19年			
	県派遣	県OB		県派遣	県OB		県派遣	県OB		
役員	常勤取締役	2	0	1	3	0	1	3	0	1
	非常勤取締役	7	0	0	8	0	0	8	0	0
	常勤監査役	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤監査役	3	0	0	3	0	0	3	0	0
	計	12	0	1	14	0	1	14	0	1
職員	管理職	3	0	0	2	0	0	2	0	0
	一般職	5	0	0	7	0	0	6	0	0
	臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	嘱託職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	8	0	0	9	0	0	8	0	0
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数			
	1	1	3	3	8	46歳6月	16年3月			

## [収支の状況]

日立港木材倉庫株式会社

(単位:千円)

区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度
収 支 の 状 況	売上高	196,613	242,646	233,308
	売上原価	105,013	133,905	124,437
	売上総利益	91,600	108,741	108,871
	販売費及び一般管理費	83,393	88,981	96,998
	うち管理費	10,620	12,307	13,995
	うち人件費	72,773	76,674	83,003
	営業利益	8,207	19,760	11,873
	営業外収益	7,954	7,886	5,364
	営業外費用	255	254	170
	経常利益	15,906	27,392	17,067
	特別利益	120	1,223	0
	特別損失	437	61	1,622
	税引前当期純利益	15,589	28,554	15,445
	法人税、住民税、事業税	9,463	15,780	6,314
	当期純利益	6,126	12,774	9,131
	前期繰越金	5,244	4,812	7,097
	当期未処分利益	11,370	17,586	16,228
利益処分・損失補填額	6,558	10,489	8,401	
次期繰越金	4,812	7,097	7,827	
財 産 の 状 況	資産	343,566	356,151	340,107
	流動資産	109,445	125,462	110,032
	固定資産	233,613	230,435	229,990
	繰延資産	508	254	85
	負債	44,388	50,690	34,194
	流動負債	32,976	33,424	16,598
	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	11,412	17,266	17,596
	うち長期借入金	0	0	0
	資本	299,178	305,461	305,913

## [財務関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度
財 務 関 与 状 況	補助金	0	0	0
	委託金	5,870	5,850	5,900
	貸付金			
	計	5,870	5,850	5,900
	財政的関与の割合(%)	3%	2%	3%
損失補償・債務保証				

## [平成18年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	
委託金	①第五埠頭及び貯木場内港湾施設(フェンス・防舷材等)点検及びその清掃 ②貯木場内緑地帯の維持管理(植栽の剪定・除草殺虫剤散布その他) 「日立港管理業務」を受託することにより適正な管理が図られた
貸付金	

[評価総括]

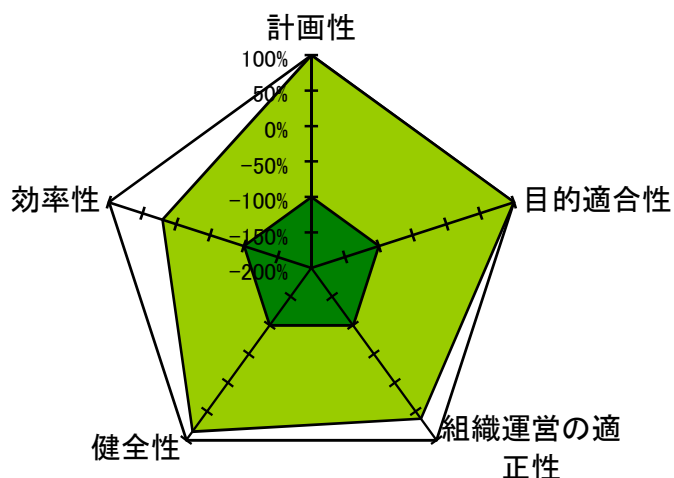
評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	8	8	100.0%
目的適合性	4	10	10	100.0%
組織運営の適正性	4	5	8	62.5%
健全性	11	34	40	85.0%
効率性	7	5	24	20.8%
合計	30	62	90	<b>68.9%</b>

企業会計用

日立港木材倉庫株式会社

警戒指標

経営評価レーダーチャート



《評価の視点》

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題・対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
財務については、平成17年度下期から月次決算を導入し、その適切な運営に努めている。今後は、予算と併せてより計画的、積極的な経営に努めていきたい。	地域の顧客にとって必要なオンリーワン保管施設を創り「地域社会の発展と地域環境の保全に寄与していく」ことを目的として、企業理念の実現を目指していく。	社内体制の強化のため、18年度に経営統括会議、経営推進会議及び全体会議を設置した。今後はこの体制を活用し、企業目標の実現に取り組んでいく。	景気の動向に大きく左右される部門であるが、より安定的な貨物の確保を最重要課題として取り組むとともに、内部留保を高めていきたい。	平成18年度は業務量の増大に対応して職員2名を増員したため、効率性が低下した。今後は更に売上高を伸ばし、効率性を高めるよう取り組んでいきたい。
今後の事業展開の方向	平成16年度に設置した経営推進委員会においては「経営基盤の確立と人材育成を図るとともに、新たな収益構造を図っていく」という長期的な目標が出された。当社の基幹は倉庫事業であり、最近の景気回復基調の中で地域の倉庫需要も増加してきているが、施設不足の為応えきれない。新たな倉庫を建設しようとした需要に対応していくことが、地域の振興のためにも、また長期目標を達成し、当社自体の今後の伸展を図るためにも緊急に必要な状況となってきている。このため、必要な土地の確保、倉庫建設に向けて取り組みを早急に進めていきたい。			

[法人を担当する課の意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
月次決算の適切な運営により、今後とも計画的な財務経営に努められたい。	木材及び倉庫業界のリーダーとして、引き続き日立港第5埠頭B・C岸壁の利用促進及び日立港背後地の効率的な運営など公益的な役割を担って行くことが期待される。	新たに設置された、経営統括会議等の活用により、今後は企業目標の実現が期待できる。	内部留保を一層高めたうえで、新規事業開拓のための、環境整備を図られたい。	効率性を更に高めたうえで、今後は売上高を更に伸ばして行くことが期待できる。
法人担当課の意見	経営推進委員会で打ち出した長期的な目標である、「経営基盤の確立と人材育成を図るとともに、新たな収益構造を図っていく」を達成するために、基幹事業である営業倉庫部門を充実・強化させる取り組みは高く評価できる。 また、新たな倉庫建設計画は、日立港周辺地域の倉庫需要の増加に対応するためのものであり、地域の振興にも寄与され、県出資法人としての役割を十分発揮できるものである。			

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">健全性</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">効率性</div> </div>				
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;">概ね良好</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px;">緊急の改善措置が必要</div> </div>				
	<p>「経営基盤の確立と人材育成を図るとともに、新たな収益構造を図っていく」という長期目標のもと、基幹事業である営業倉庫部門を充実・強化してきた。 収支状況についても問題がなく、引き続き業務の効率化を図り、物流倉庫・保管業務を中心に充実を図るとともに、公益的役割も担われたい。 また、常勤職員の平均年齢が高齢化していることから、引き続き計画的な対応を図る必要がある。</p>				

総合的所見等に係る対応	<p>今後とも、業務の効率化を図りながら、常勤職員の年齢構成の計画的な改善及び港湾施設の管理業務等、公益的な役割を担うよう指導するとともに、県としての関与の在り方等について検討していく。</p>
-------------	---

< 日立港木材倉庫株式会社 から県民のみなさまへ >

県出資法人として、我が社に関係するすべての「お客さま」、「株主さま」、「従業員」がより大きな喜びを分かち合うため、そして「地域社会の発展」と「地域環境の保全」に寄与するため、わたしたし従業員ひとりひとりは、基本方針を正しく理解し、いかなる時も行動の礎として邁進してまいります。

平成20年2月 代表取締役 打越 芳男